

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 2 区分

【発行日】平成 21 年 9 月 24 日 (2009.9.24)

【公開番号】特開 2004-246353 (P2004-246353A)

【公開日】平成 16 年 9 月 2 日 (2004.9.2)

【年通号数】公開・登録公報 2004-034

【出願番号】特願 2004-16274 (P2004-16274)

【国際特許分類】

G 0 3 G 15/20 (2006.01)

H 0 5 B 6/14 (2006.01)

H 0 5 B 6/36 (2006.01)

【F I】

G 0 3 G 15/20 1 0 1

H 0 5 B 6/14

H 0 5 B 6/36 B

H 0 5 B 6/36 D

【手続補正書】

【提出日】平成 21 年 8 月 6 日 (2009.8.6)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 1】

導電体に誘導電流が誘起されることにより発熱する誘導加熱方式の像加熱装置に用いられる励磁コイルユニットであって、

絶縁被覆のない導線により形成されたコイルと、

前記コイルの導線間に入り込んで導線に接触した状態でコイルを覆う耐熱絶縁材と、を有することを特徴とする誘導加熱方式の像加熱装置に用いられる励磁コイルユニット。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項 1 0

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 1 0】

導電性の回転部材と、

絶縁被覆のない導線で形成されたコイル及び該コイルの導線間に入り込んで導線に接触した状態でコイルを覆う耐熱絶縁材を有するとともに、該コイルに通電して磁界を発生させることにより前記導電性の回転部材に渦電流を誘起する励磁コイルユニットと、

を備えることを特徴とする誘導加熱方式の像加熱装置。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 9

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 9】

前記目的を達成するための本発明においては、導電体に誘導電流が誘起されることにより発熱する誘導加熱方式の像加熱装置に用いられる励磁コイルユニットであって、絶縁被覆のない導線により形成されたコイルと、前記コイルの導線間に入り込んで導線に接触した状態でコイルを覆う耐熱絶縁材と、を有することを特徴とする。

【手続補正４】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００２７

【補正方法】変更

【補正の内容】

【００２７】

本発明における誘導加熱方式の像加熱装置は、導電性の回転部材と、絶縁被覆のない導線で形成されたコイル及び、該コイルの導線間に入り込んで導線に接触した状態でコイルを覆う耐熱絶縁材を有し、該コイルに通電して磁界を発生することにより前記導電性の回転部材に渦電流を誘起する励磁コイルユニットと、を備えることを特徴とする。